

第95回 定時株主総会



日産車体株式会社

議決権数等のご報告

議決権数等のご報告

第95期末現在の株主総数	4,464名
--------------	--------

発行済株式の総数	157,239,691株
----------	--------------

議決権を有する株主数	3,988名
------------	--------

議決権総数	1,354,260個
-------	------------

監査役会の 監査報告

招集ご通知の添付書類42頁・43頁を
ご参照ください。

第95回 定時株主総会



日産車体株式会社

報告事項

- 1. 第95期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）**
事業報告の内容、連結計算書類の内容
- 2. 第95期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）**
計算書類の内容報告

企業集団の現況に 関する事項



ARMADA



Infiniti QX80



NV200
VANETTE



WINGROAD



NV150
AD



NV350
CARAVAN



ELGRAND



CIVILIAN

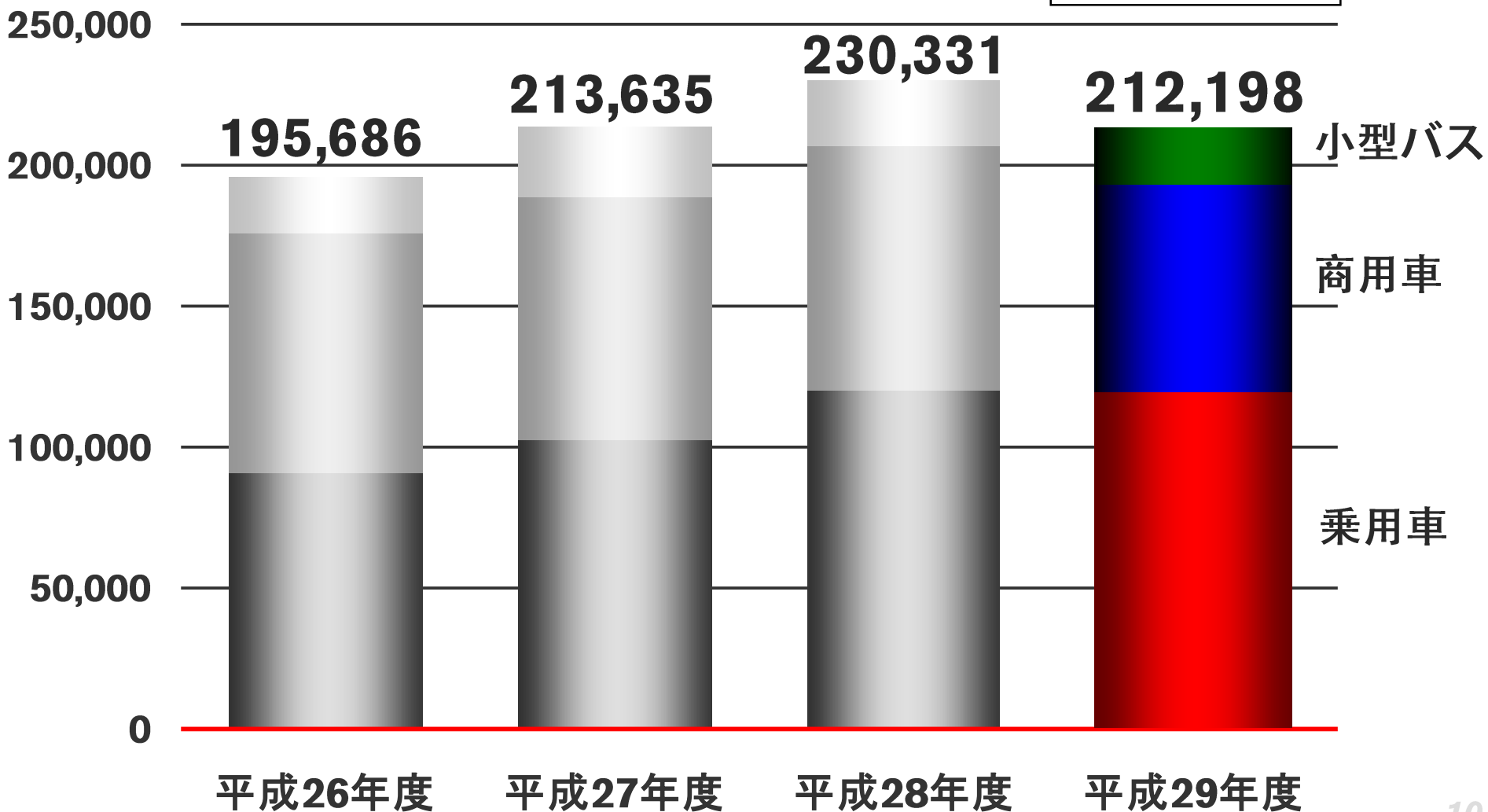


ATLAS F24

売上台数

(台)

$\Delta 7.9\%$



売上高（連結）

$\Delta 1.3\%$

(億円)

6,000

4,000

2,000

0

平成26年度

平成27年度

平成28年度

平成29年度

4,753

5,094

5,658

5,586

自動車
部品等

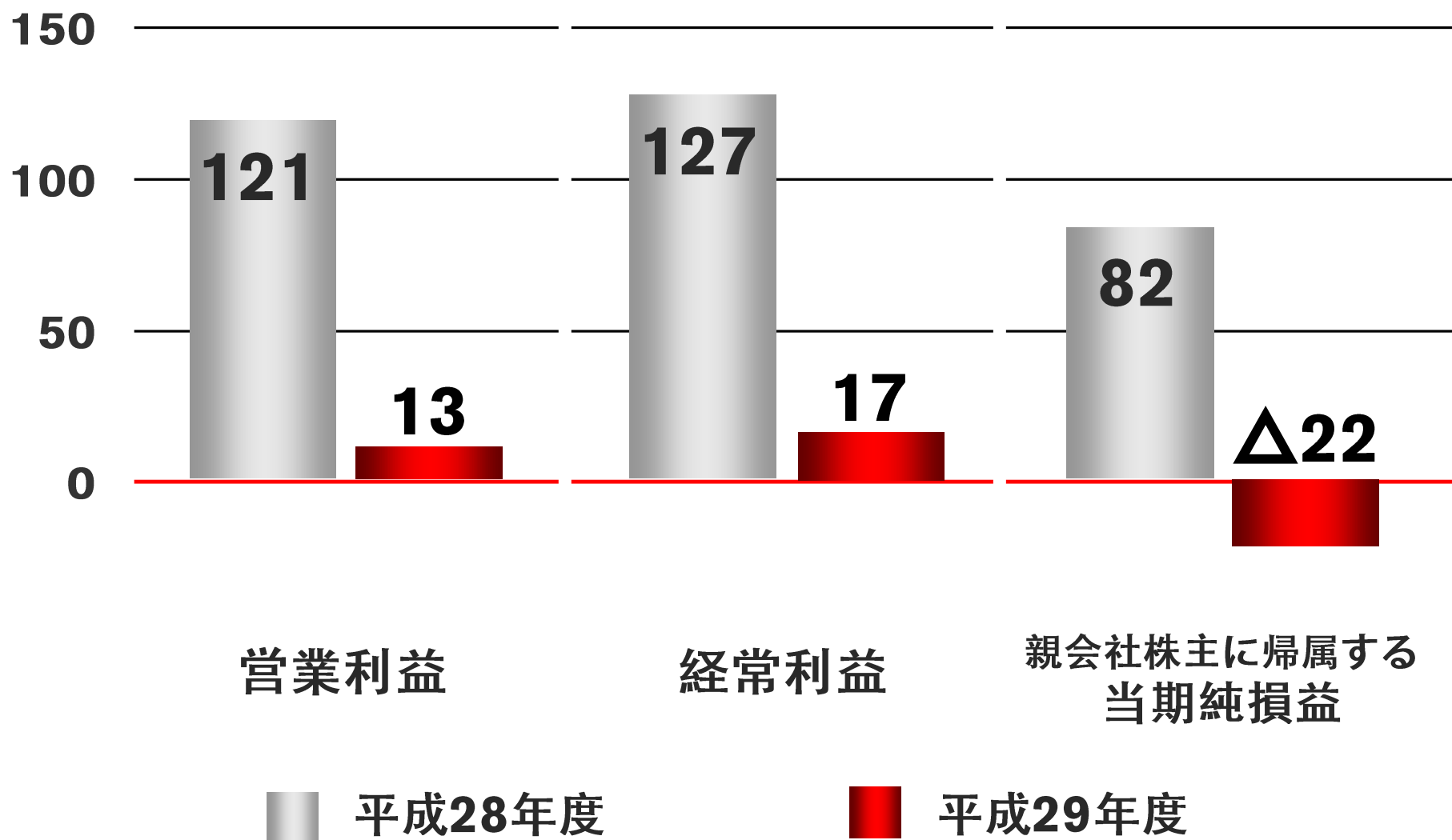
小型バス

商用車

乗用車

損益の比較（連結）

(億円)



資金調達の状況

設備投資の状況

総額 約144億円

- 新商品、マイナーチェンジによる商品力強化
- 諸設備の合理化及び改善

業務の適正を確保するための 体制等の整備について (内部統制)

招集ご通知の添付書類15頁～21頁を
ご参照ください。

連結計算書類

招集ご通知の添付書類22頁～29頁を
ご参照ください。

連結貸借対照表

平成30年3月31日現在

連結貸借対照表（概要）

（億円）

科 目	金額	前期比	科 目	金額	前期比
資産の部	2,730	△214	負債の部	1,113	△37
流動資産	2,126		流動負債	969	
固定資産	603		固定負債	143	
有形固定資産	560		純資産の部	1,617	△176
無形固定資産	12		株主資本	1,633	
投資その他の資産	30		資本金	79	
			資本剰余金	85	
			利益剰余金	1,695	
			自己株式	△226	
			その他の包括利益累計額	△15	
合 計	2,730		合 計	2,730	

※詳細は招集ご通知の添付書類22頁をご参照ください。

※記載金額については、億円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

連結損益計算書（概要）

（億円）

科 目	金 額
売 上 高	5,586
売 上 原 価	5,505
売 上 総 利 益	80
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	67
営 業 利 益	13
営 業 外 収 益	6
営 業 外 費 用	2
経 常 利 益	17
特 別 利 益	0
特 別 損 失	46
法 人 税 等 合 計	△5
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 損 失	△22

※詳細は招集ご通知の添付書類23頁をご参照ください。

※記載金額については、億円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等 変動計算書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

招集ご通知の添付書類24頁・25頁を
ご参照ください。

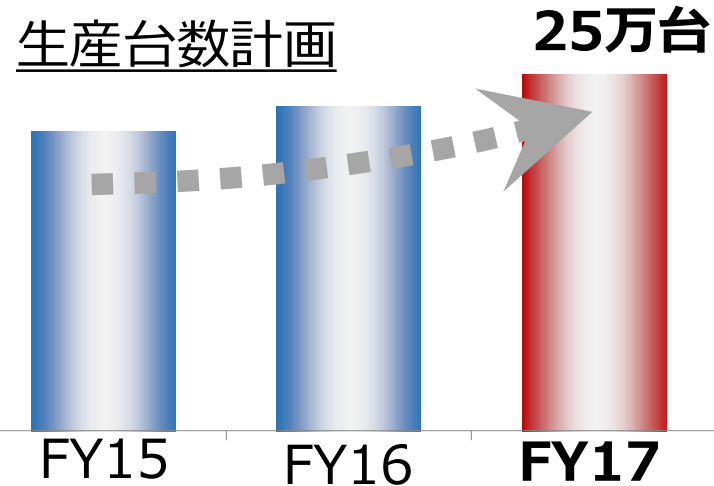
計算書類

**招集ご通知の添付書類30頁～39頁を
ご参照ください。**

対処すべき課題

2017年度振り返り

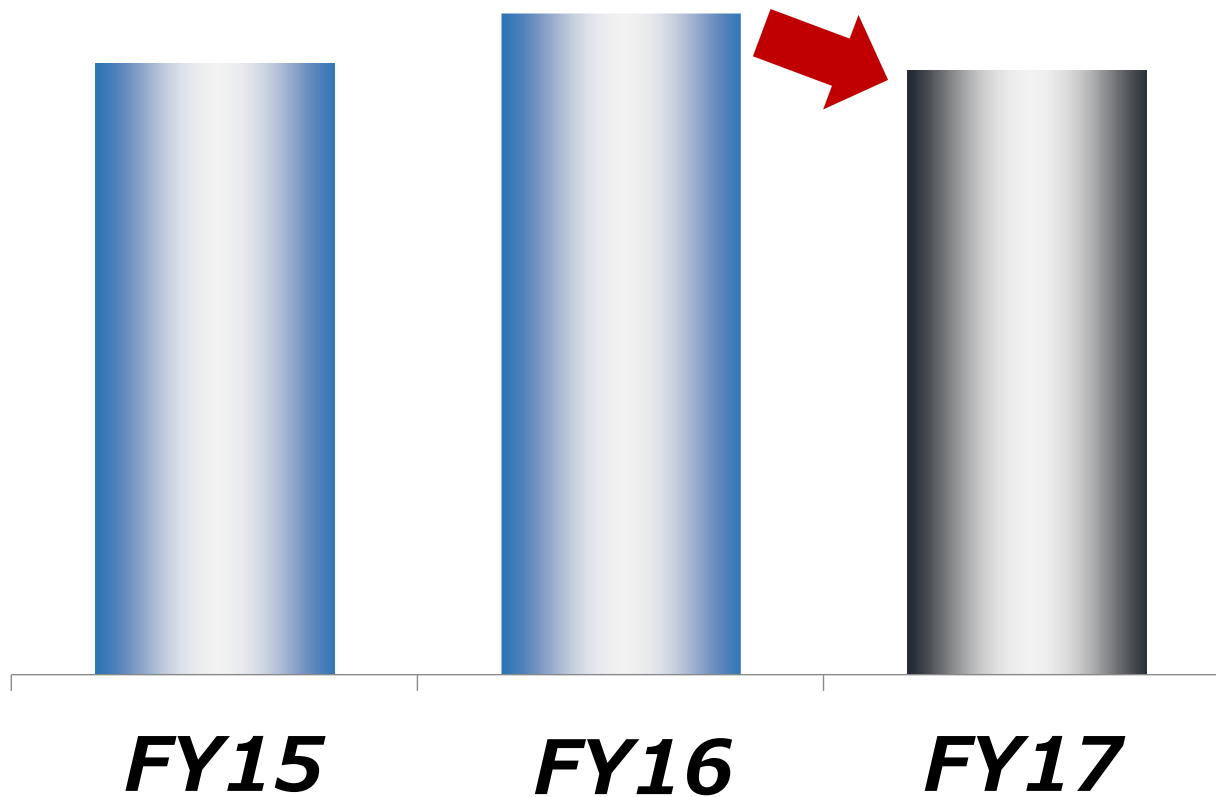
湘南工場 アルマーダ並行生産スタート



日産車体九州

湘南工場

FY17生産台数実績



2017年度振り返り

完成検査再発防止

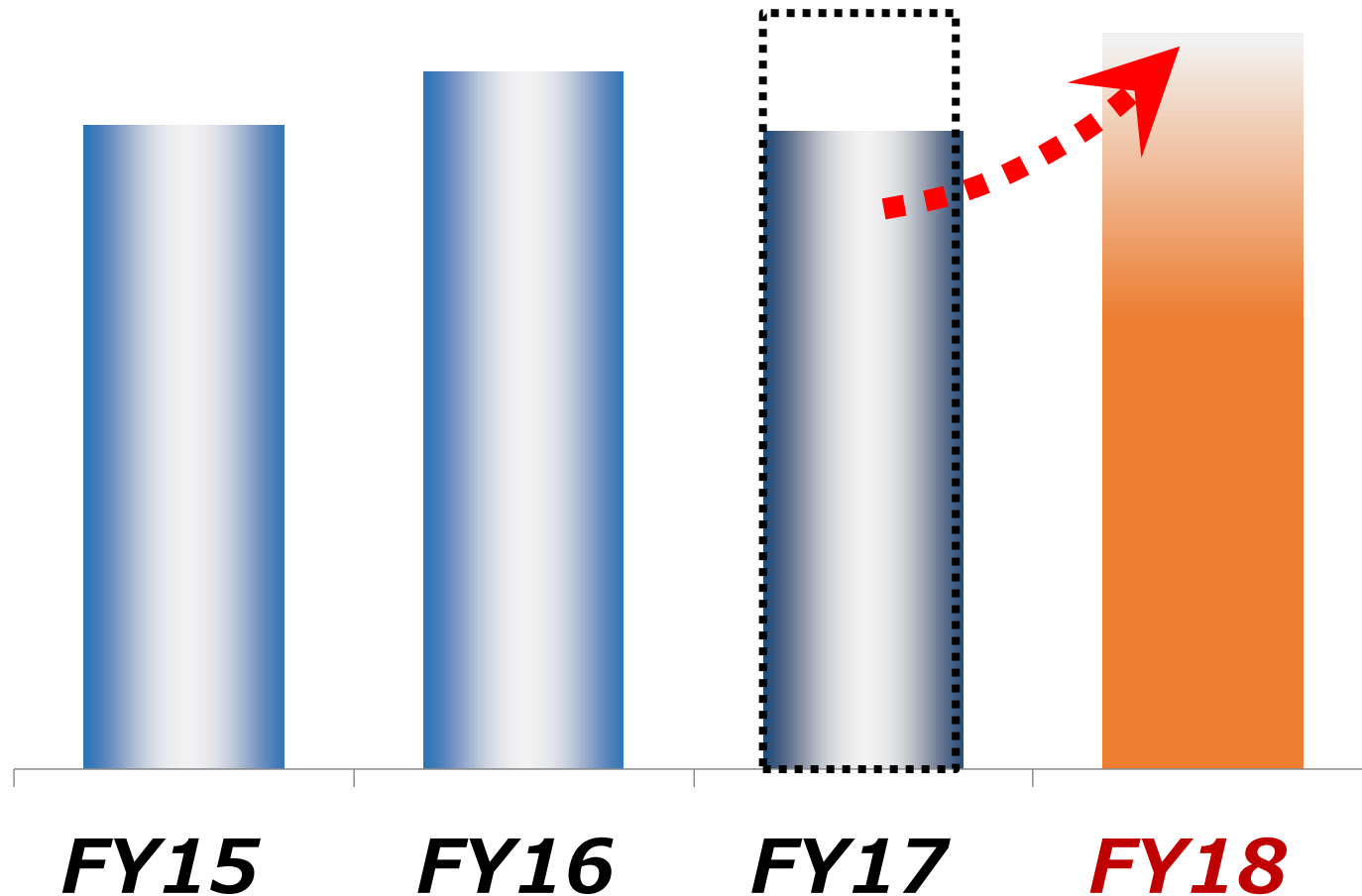
①ハード面の対応



②ソフト面の対応



FY18生産計画



2017年度振り返り

FY17 発表発売された主な新型車

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			・Vモーショングリル ・インテリジェントアラウンドビューモニター ・自動ブレーキ バン全車標準								
											
		NV350キャラバンビッグマイナー					QX80ビッグマイナー				
		・ナビゲーション最新化 ・インテリジェント リアビューミラー							・FR,RRエクステリア変更 ・ナビゲーション最新化 ・インテリジェント リアビューミラー		
											
		Y62パトロール マイナー					次期型パラメディック モーターショー発表				
			Y62アルマーダ マイナー								
									NV200バネット 4WD追加		

2018年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

2018年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

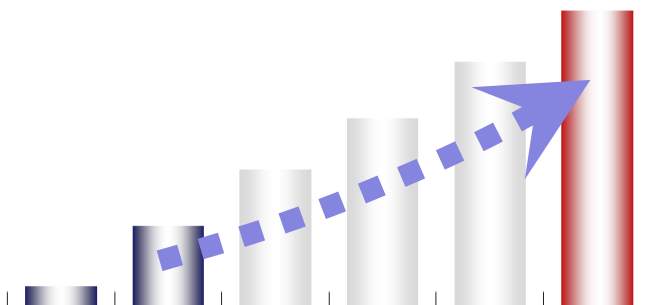
すべての活動を支える基盤

2018年度取り組み

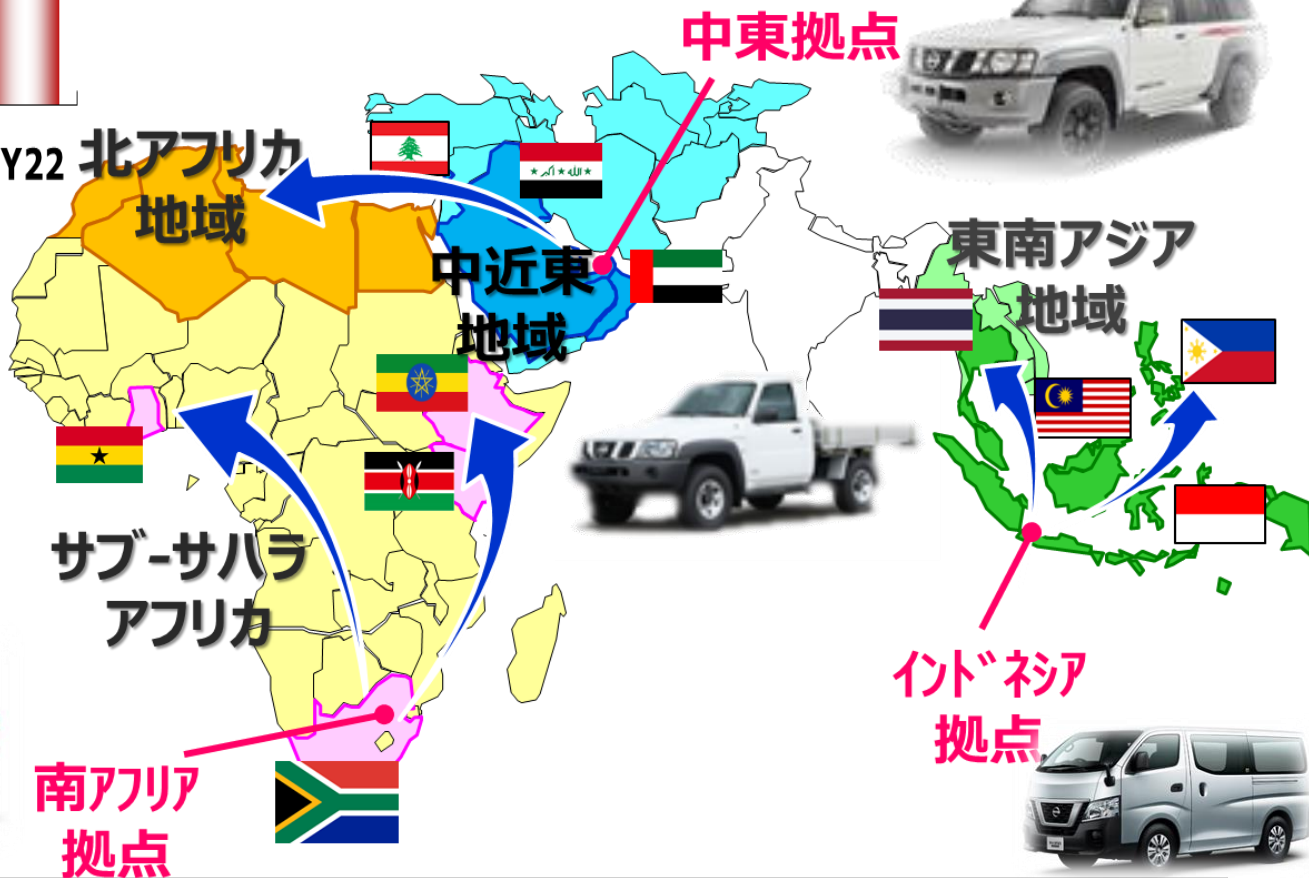
商品の競争力

台数勝ち上げ活動

新たに**アフリカ**と**東南アジア**
へ活動展開

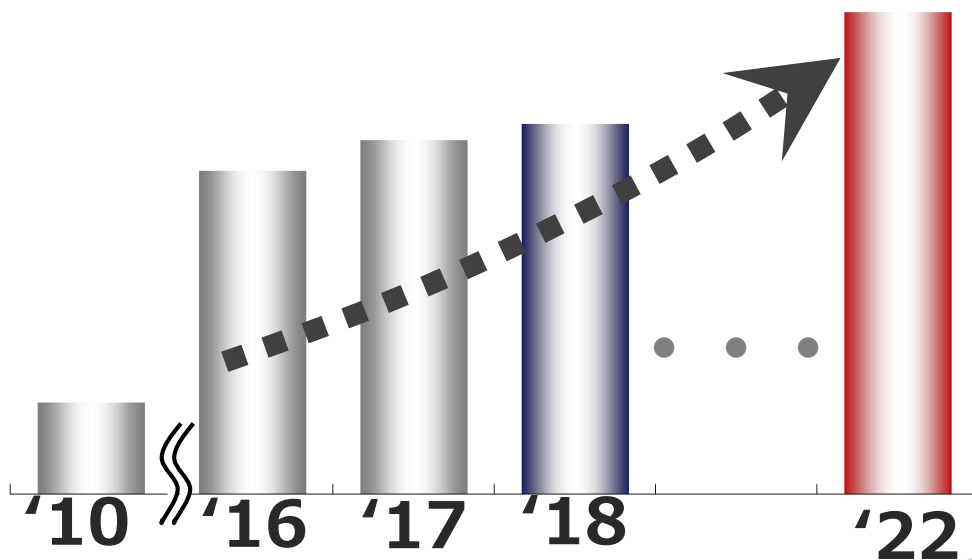


FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22



2018年度取り組み 商品の競争力

コンバージョン売り上げの拡大



新型
パラメディック

海外ビジネス拡大
・PKO向け車両
・現地特装車



日産車体

国内ビジネス
体制強化



オートワークス
京都

日産
トレーディング

NISSAN SHATAI CO.

2018年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

2018年度取り組み 工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場



品質はQCTすべての根源
全社一体のモノづくりで品質No.1目指す

FY17日産圏 国内市場初期品質 3MIS



NV200
VANETTE



NV150
AD



ATLAS
F24

	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17
1位						
2位					ノート	
3位			キューブ	ノート	キューブ	

2018年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

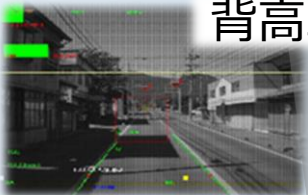
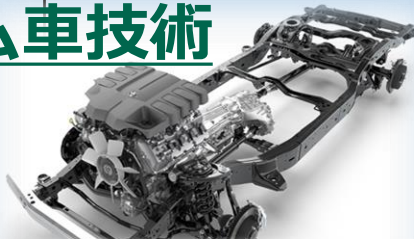
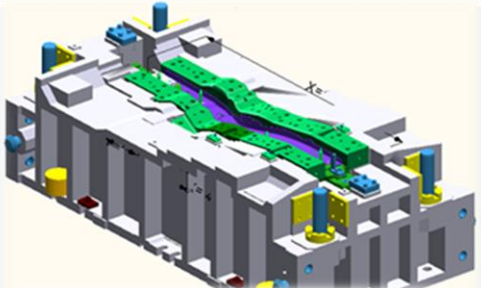
技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

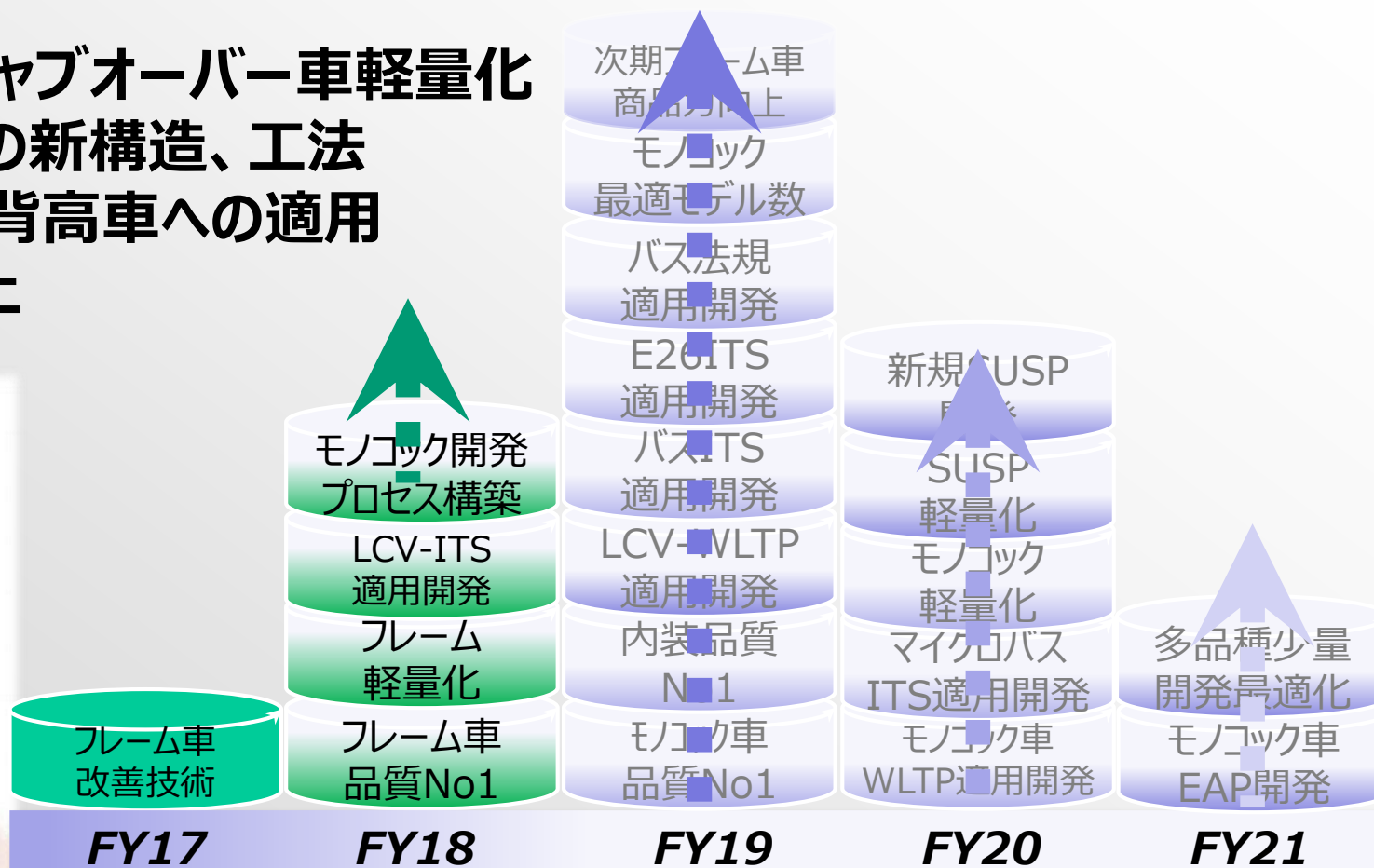
FY18取り組む技術課題

※ITS：高度道路交通システム

Q1	Q2	Q3	Q4
<u>モノコック、キャブオーバー車技術</u>  PF軽量化技術	<u>LCV-ITS技術</u> 背高車自動ブレーキ技術 	<u>フレーム車技術</u> 	<u>フレーム車技術</u>  次期型フレーム車技術
<u>次期型フレーム生産工法</u>  フレーム部品精度保証		<u>人にやさしい工程</u>  アシストデバイス技術	

FY18の主な取り組み技術

- ✓ モノコックキャブオーバー車軽量化
- ✓ フレーム車の新構造、工法
- ✓ LCV-ITS背高車への適用
- ✓ 商品力向上



技術の蓄積を促進していく

2018年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

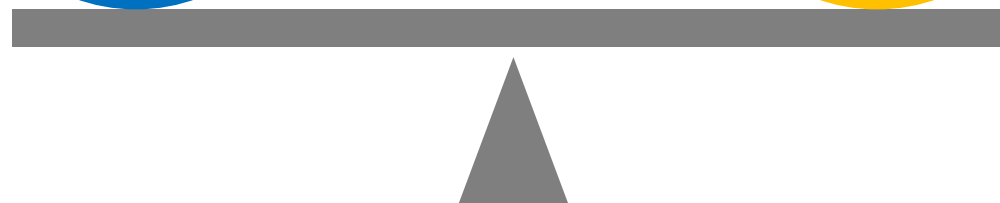
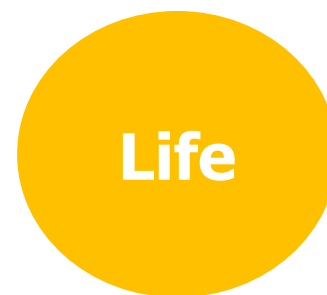
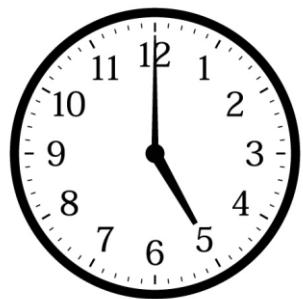
LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

ダイバーシティの促進

「誰もが働きやすい職場の実現」

- ・男性育児休暇取得率向上
- ・長時間労働の削減



2018年度取り組み

2017-2022 中期経営計画

【基本方針】

LCV・Frame車を技術力の核とし
高品質で魅力ある商品をお客様にお届けすることで
将来にわたる強靱な企業基盤を確立する

【全社中期目標】

商品の競争力

魅力ある商品による生産台数と売上の拡大

工場の競争力

品質No.1, お客様から信頼される工場

技術・技能の競争力

LCV・Frame車ものづくりグローバル技術拠点の実現

すべての活動を支える基盤

対処すべき課題

第95回 定時株主総会



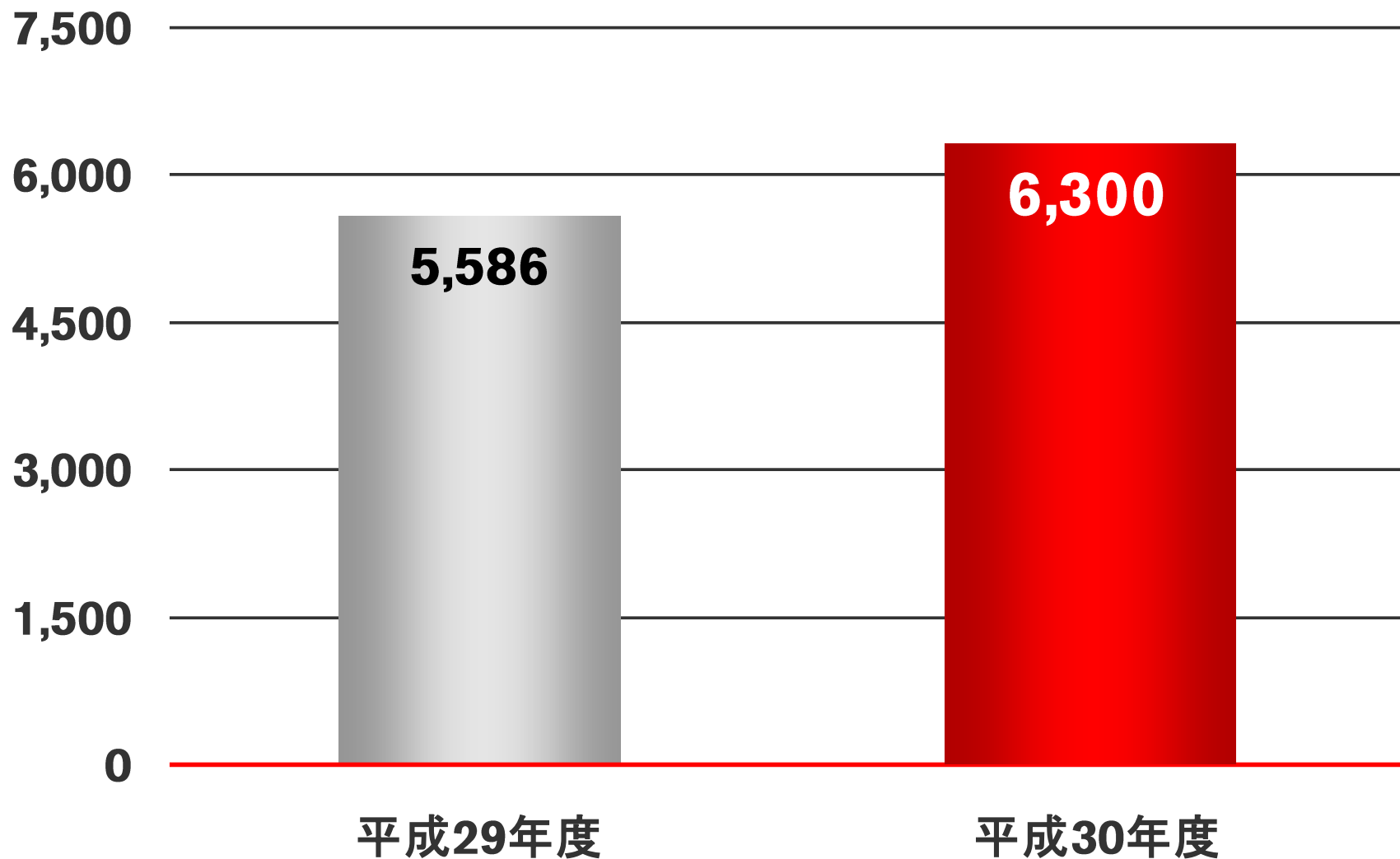
日産車体株式会社

平成30年度業績見込み

(連結)

総売上高

(億円)



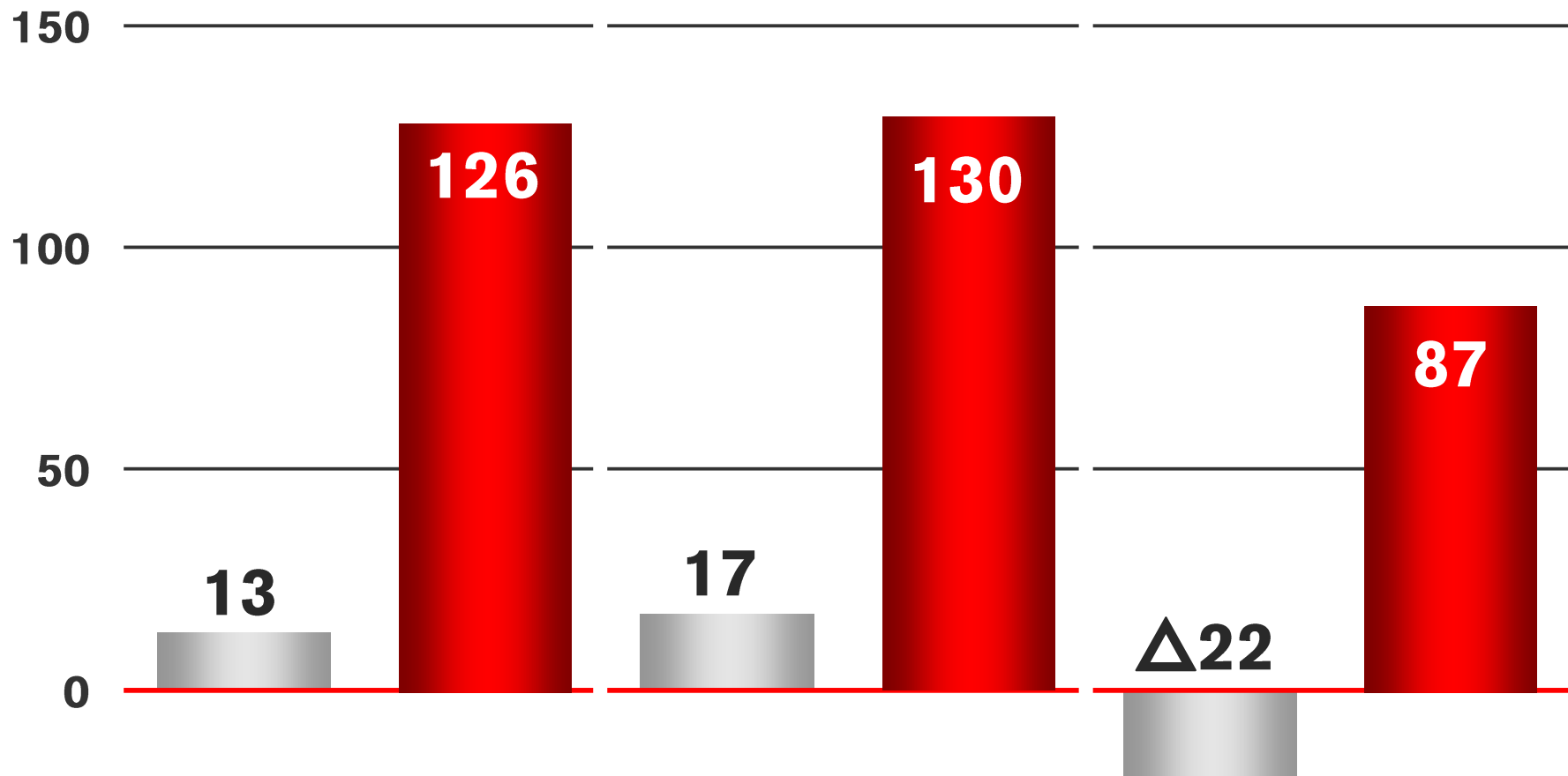
(連結)

親会社株主に帰属する
当期損益

営業利益

経常利益

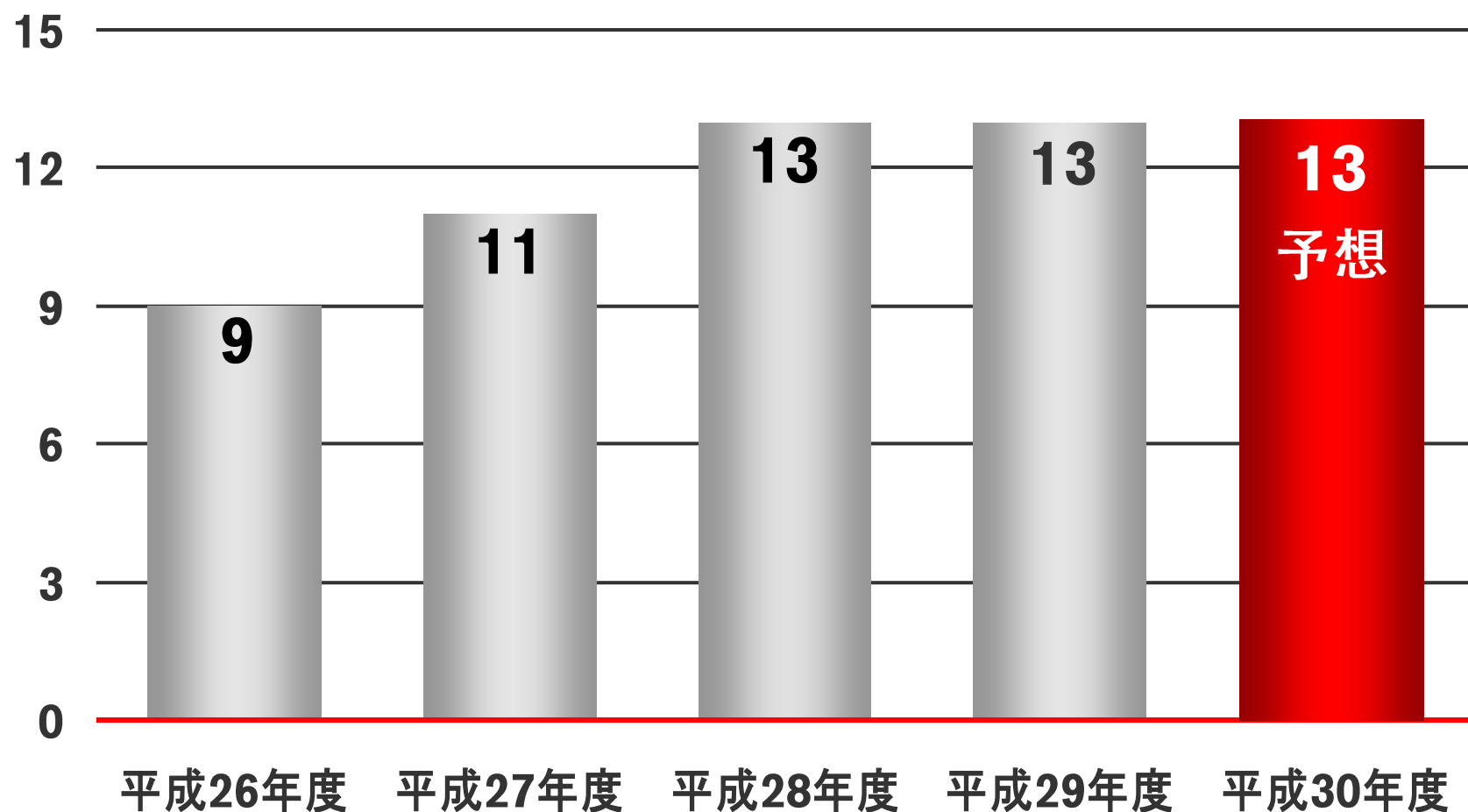
(億円)



平成29年度 平成30年度 平成29年度 平成30年度 平成29年度 平成30年度

1株当たりの年間配当の推移

(円)



第95回 定時株主総会



日産車体株式会社